

**SEAT FOR WESTERN-STYLE TOILET WITH DEODORIZING OPENING**

Patent Number: JP8089445  
Publication date: 1996-04-09  
Inventor(s): OSHIMA TAKAHIRO  
Applicant(s): OSHIMA TAKAHIRO  
Requested Patent: ☐ JP8089445  
Application Number: JP19910132422 19910326  
Priority Number(s):  
IPC Classification: A47K13/30; E03D9/00; E03D9/05  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PURPOSE:** To deodorize and ventilate at the same time by forming a deodorizing opening at a seat for western-style toilet, arranging a pipe and connecting the pipe with a vacuum machine, and dividing the deodorizing opening with partitions to form small spaces to heighten the vacuum effect.

**CONSTITUTION:** A switch 7 is provided in case of feces, etc., such that switching on and off can be done at any time. The strength a vacuum machine 1 is freely variable with an adjuster 8. The absorption power of the vacuum machine 1 is preferably not less than 40W. For western-style toilet seat 3 without heater, it is also possible to arrange the deodorizing opening 4 only. The deodorizing opening 4 is preferably mounted at the hind part of the toilet seat. If the vacuum machine is arranged outdoors, the noise will be reduced. The deodorizing opening 4 can be also used as a ventilating opening and the deodorizing opening 4 may be formed in the manufacturing process. The material for a pipe 2 should be as soft as a rubber hose and capable of coping with the movement of the toilet seat 3. Thereby even an odor from feces can be absorbed within the toilet stool.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-89445

(43) 公開日 平成8年(1996)4月9日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 K 13/30	B			
E 0 3 D 9/00	B			
9/05				

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平3-132422

(22) 出願日 平成3年(1991)3月26日

(71) 出願人 591131615

大島 隆浩

群馬県桐生市小曾根町9-34

(72) 発明者 大島 隆浩

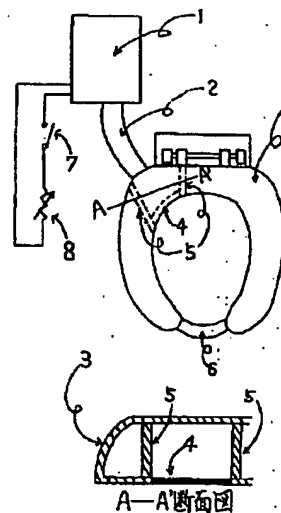
群馬県桐生市小曾根町9-34

(54) 【発明の名称】 脱臭口付き洋式トイレ用便座

(57) 【要約】

【目的】 この発明は、脱臭口を様式トイレ用便座に設けたもので、しかも、換気も同時にすることが出来るように開発したものである。

【構成】 便座(3)に脱臭口(4)を設けてバキューム(1)に配管(2)を施し、脱臭と換気を行う。



- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. バキューム(吸引装置) | 2. 配管(ゴム管)     |
| 3. 便座          | 4. 脱臭口         |
| 5. 仕切り         | 6. 便器          |
| 7. スリット        | 8. ボリューム(可変抵抗) |

1

## 【特許請求の範囲】

図面に示す通り洋式トイレ用便座（暖房式のもの）に脱臭口を設けたものである。

## 【発明の詳細な説明】

産業用の利用分野 この発明は、洋式トイレ用便座（暖房式のもの）に脱臭口を設けて悪臭を取り除くものである。又、暖房式のものでなくても脱臭口だけ別で取り付け可能。

## 従来の技術

従来は、脱臭といえば芳香剤や洗い流す水に洗浄剤を混ぜたりしたものであった。（水の色が青くなる様なもので現在市販されている。）

## 発明が解決しようとする課題

この発明は、脱臭口を洋式トイレ用便座に設けたもので、しかも、換気も同時にすることが出来るように開発したものである。

課題を解決する為の手段 これを図面について説明すれば

（イ） 洋式トイレ用便座 3 に脱臭口（換気口も兼ねる）4 を設ける。

（ロ） 洋式トイレ用便座 3 に配管 2 を取り付けバキュームとつなげる。

（ハ） バキューム（吸入仕事率 40 W）効果を高める為に脱臭口を仕切り 5 で仕切って小さい空間を作る。

（吸入仕事率は 40 W 以上を使用する。）

作用 以上の構成であるから便をしたとき（主に大便）に悪臭は、脱臭口に吸収され匂わなくなるし、同時に換気も出来る。

## 実施例

（イ） 大便などの場合図面示す通りスイッチが付いているので好きなときに ON、OFF が出来る。

2

（ロ） ポリウムを使うことによりバキュームの強さを無段階に調節出来る。

（ハ） 実際に大便をして効果を確認したところ全く悪臭は匂わなかった。

（ニ） バキュームの吸入仕事率は、40 W 以上を使用すると良い。

（ホ） 洋式トイレ用便座で暖房式でなくても脱臭口だけを取り付ける事も可能である。

（ヘ） 脱臭口は、便座の後部に設けると良い。

（ト） バキュームの取り付け場所は、屋外に設けると騒音が少なくなるのでより良い。

（チ） 脱臭口は、換気口としても使用可能と考えられる。

（リ） 脱臭した匂いは、屋外に出す。

（ヌ） 製造段階から脱臭口を設ける事ができる。（バキュームなど付属の設備が必要）

（ル） 和式用トイレにも応用できる。

（オ） 配管は、ゴムホースのような柔らかくて便座の動きに対応できるものを使用する。

## 20 発明の効果

したがって、これによって大便のような匂いも便器内で吸収してしまうので悪臭を嗅ぐことも無くなる。又、換気口としても兼用できる。

## 【図面の簡単な説明】

第 1 図は、全体図と便座の平面図

第 2 図は、便座を上げた状態の図

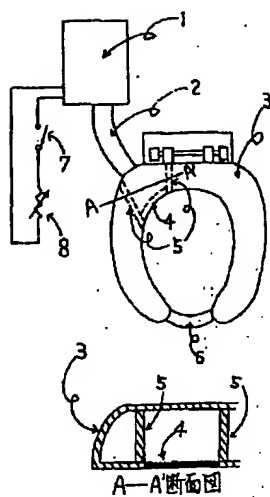
1 は、バキューム 2 は、配管 3 は、便座

4 は、脱臭口（換気口を兼ねる） 5 は、仕切り

6 は、便器 7 は、スイッチ 8 は、ポリウム

（可変抵抗）

【第1図】



1. バキューム(吸気装置) 2. 配管(パイプ)  
 3. 便座 4. 脱臭口  
 5. 仕切り 6. 便器  
 7. スイッチ 8. ホウズル(可変抵抗)

【第2図】

